

## 「戦争させない市民の風・北海道」設立にむけての経過報告（案）

憲法改悪を阻止し、安保法制の廃止と立憲主義の回復をめざし、安倍政権の暴走にストップをかけるために、あらゆる機会をとらえ、戦争させない市民とすべての野党が協力・連携して共闘し、市民と野党の統一候補の実現と、その勝利に力を合わせなければならないと思います。そのために私たちは昨年11月、市民団体「戦争させない北海道をつくる市民の会」の立ち上げを呼びかけ、1000人以上もの賛同人を集めて、道内のすべての野党に対して、衆議院五区補欠選挙での野党共闘による統一候補擁立に向けて大きく団結していくことを要請しました。さらに市民が統一して推す候補者として池田まささんに出馬要請を行い、本人から立候補への強い決意表明を頂きました。

しかしながら、北海道における野党共闘の実現は困難をきわめました。そこで市民と野党が統一して推す候補の実現とその勝利のために力を合わせるとともに、それぞれが具体的に選挙活動・政治活動に協力・連携して取り組むために、政治団体「安保法制の廃止と立憲主義の回復をめざす市民の風・北海道」を立ち上げました。市民団体「戦争させない北海道をつくる市民の会」と政治団体「安保法制の廃止と立憲主義の回復をめざす市民の風・北海道」は、平和を願い、衆議院五区補欠選挙での市民と野党が共闘による統一候補実現を願う市民と市民団体の思いを結集し、野党に強く働きかけることによって、北海道での画期的・歴史的な市民と野党の共闘を実現させるとともに、統一候補の勝利のために協力・連携して選挙戦を戦いました。残念ながら選挙では勝利することが出来ませんでした。多くの平和を願う市民が主体的・積極的に選挙活動・政治活動に参画し、取り組んだことは歴史的・画期的なことであります。このことは参議院議員選挙における全国での市民と野党の共闘にも大きなはずみをつけたとともに、参議院北海道選挙区においては三名の野党候補者と政策協定を結んで推薦し、そのうちの二名の当選にも大きな力となったと思われまます。

これらの取り組みの経験と成果と、これからの平和を願う市民の闘いに引き継いで活かしていくために、このたび市民団体「戦争させない北海道をつくる市民の会」と、政治団体「安保法制の廃止と立憲主義の回復をめざす市民の風・北海道」のふたつの団体を統合して、新たな市民団体「戦争させない市民の風・北海道」を立ち上げることになりました。

「戦争させない北海道をつくる市民の会」については、1000人以上の賛同人を得て、市民と野党の統一候補擁立に大きな成果をあげましたが、会員組織としての実体ははっきりとしていないところがありました。「市民の風・北海道」については、衆議院五区補選および参議院議員選挙において、市民が野党と共闘しながら、具体的な選挙活動・政治活動に取り組むために政治団体として立ち上げましたが、政治団体としての様々な制約もあり、当面は国政選挙に向けての選挙活動よりも、日常的な取り組みを優先させるために、政治団体としての活動を一時休眠させたいと思います。

「戦争させない市民の風・北海道」は、この二つの団体の理念や目的、その活動と成果を引き継いで、新たな市民団体として組織的にも活動的にも更なるパワーアップをはかることで、憲法改悪の阻止、安保法制の廃止、立憲主義の回復のために、市民の政治参加をすすめ、市民と野党の協力、連携によって、平和を願う市民が望む政治の実現をめざして、設立させていきたいと思ひます。

## 「戦争させない市民の風・北海道」当面の活動方針（案）

### （１）衆議院選挙での市民と野党共闘と統一候補の擁立へ取り組む

・衆議院五区補選と今回の参議院選挙での市民と野党共闘および統一候補擁立の取組みは、間違いなく選挙結果に大きな影響を与えており、その成果も着実に上げている。これからの国政選挙においても、この動きを止めることなく、取組みをすすめていかなければならない。はやいうちに政党と市民の風との懇談・協議をおこない、時期をみて政党への申し入れや、政党や市民団体との協議の場を設けていく。

### （２）憲法改悪阻止と安保法制廃止・立憲主義回復をめざすことに取り組む

・衆参両院において憲法改悪に前向きな政党・議員の数が3分の2を超えたといわれる状況となり、安保法制廃止・立憲主義回復をめざすことはもとより、憲法改悪への動きを阻止していくことが急務となってきた。改憲問題については、まだまだ市民の間にも、この問題の重要性の認識がすすんでいない現状をふまえ、様々なかたちで周知・広報に取り組むとともに、学習会や集会を開催していく。また、志を同じくする市民・市民団体や労働団体、政党などに「改憲阻止総がかり運動」の立ち上げを呼びかける。

### （３）市民が自発的・積極的・主体的に政治に関心を持ち、政治に参加する運動へ取り組む

・市民が自発的・積極的・主体的に選挙活動に参加するだけでなく、日常的に政治に関心を持ち、政治に参加していくための運動をすすめていく。そのために日常的に集会、講演会、ミニ学習会や政党・議員との懇談会、映画会などを企画し、開催していく。また、スタンディング、ポスティングなどの宣伝活動にも取り組んでいく。さらに、TPPや憲法問題、安保問題などの様々な政治的争点についてテーマ別のチームを立ち上げ、市民自身による学習や運動をすすめていく。

### （４）幅広い市民へ「市民の風」への参加を呼びかけ組織の拡大・拡充をはかる

・平和を願う幅広い層の市民に対して、「戦争させない市民の会」への参加を広く呼びかけていく。これまでの「戦争させない北海道をつくる市民の会」の賛同人には、新たな「市民の風」への参加登録を呼びかけるとともに、九条の会などの市民団体や護憲団体・平和団体の会員にも新たな参加を呼びかける。さらには、それ以外の市民や市民団体・宗教団体などにも各種集会や学習会・懇談会への参加や連携を呼びかけていく。

以上